



プレイ時間 20分  
推奨年齢 8歳以上  
プレイ人数 3~5人

貴方は日本画の画商。同業者と協力して屏風絵を修復中ですが、先んじて完成させることができればその作品を自分のものにすることができます。より多くの作品を集めて、名画商の名を自分のものとしましょう。

## 1 ゲームの内容物

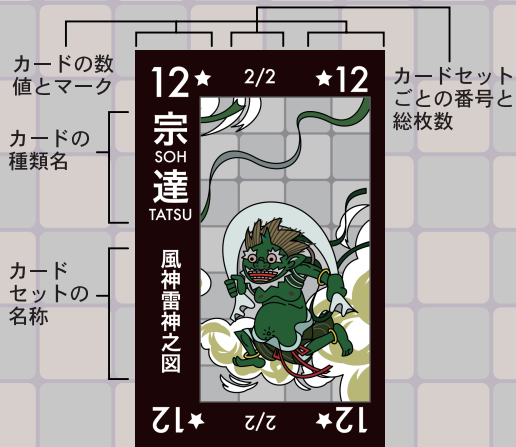
カード 4種類、各1~12の12枚

・カードの種類は次のとおりです。

宗達 (白) ☆ 光琳 (黄) ●  
抱一 (青) ◆ 其一 (赤) ●

・カードは種類ごとに、6枚、4枚、2枚でひと組のセット(カードセット)になります。それぞれに名前がついています。

宗達 ⇒ 1~6のカード ⇒ 群竜図  
7~10のカード ⇒ 白達磨図  
11~12のカード ⇒ 風神雷神之図  
光琳 ⇒ 1~6のカード ⇒ 宇宙筒図  
7~10のカード ⇒ 双桜図  
11~12のカード ⇒ 風神雷神之図  
抱一 ⇒ 1~6のカード ⇒ 赤茸茶茸図  
7~10のカード ⇒ 金魚水草図  
11~12のカード ⇒ 風神雷神之図  
其一 ⇒ 1~6のカード ⇒ 月蝕図  
7~10のカード ⇒ 群鹿図  
11~12のカード ⇒ 風神雷神之図



## 2 用語の説明

**トリック** 各プレイヤーが順番に、手札からカードを1枚出し、ルールに従って勝ち負けを判定する勝負を行います。このゲームではこれをトリックまたはトリック勝負と呼びます。

**リード** トリック勝負において最初にカードを出すことをリード、またそのプレイヤーをリードプレイヤーと呼びます。前トリックの勝者がリードプレイヤーとなります。

## 3 ゲームの目的と勝利条件

複数のカードの組合せでつくられるカードセットを集めましょう。集めたカードは1枚1点です。ゲーム終了時、もっとも点数を獲得したプレイヤーが勝者です。

## 4 準備

(1) カードを配る

・カードをよく切ってプレイヤーに配ります。配る枚数は、次のとおりです。

3人 ⇒ 15枚  
4人 ⇒ 11枚  
5人 ⇒ 9枚

・配り残ったカードは中央に、表向きで並べます。(並べる際のルールは後述の5(3)のとおりです)

(2) スタートプレイヤーを決める

・最近画廊に行った人がスタートプレイヤーになり、最初のリードを行います。

## 5 遊び方

(1) ゲームの大まかな流れ

- ・手札を1枚ずつ出して勝敗を決めます(トリック勝負を行うということです)。
- ・勝負に使用したカードは、すべて中央の場(以降、場と呼びます)に置き、カードセットをつくっていきます。
- ・カードセットが完成した場合、そのセット完成させた(つまり最後の1枚を出した)プレイヤーが、セットを獲得します。
- ・これを手札がなくなるまで行います。

【注意点1】

・このゲームは、トリック勝負の勝敗によってカードを獲得するのではなく、そこで出されたカードでカードセットをつくることができたかどうかで獲得の条件になります。

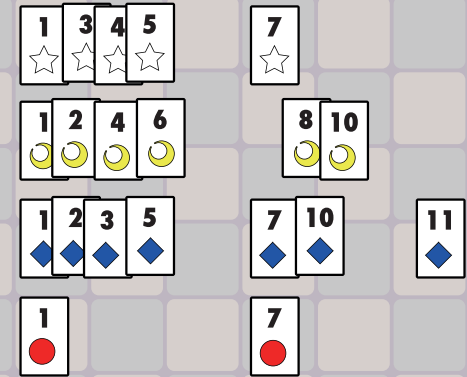
(2) トリックの勝負

- ・リードプレイヤーは、手札から1枚カードを出します。以下、時計回りで順番に各プレイヤーは手札から1枚カードを出していきます。
- ・カードは、リードプレイヤーが出したカードと同じ種類のカードがある場合は、必ずそれを出さなければなりません(これをマストフォローと言います)。同じ種類のカードが複数枚ある場合は、どの数値のカードを出しても構いません。
- ・もし、同じ種類のカードがない場合は、どのカードを出しても構いません。
- ・すべてのプレイヤーが1枚ずつカードを出したら、次のルールに従って勝敗を決めます。
- ・リードされたカードと同種類でもっとも大きい数値のカードを出したプレイヤーがそのトリックの勝者です。勝者は次のトリックのリードプレイヤーになります。

(3) 中央の場へのカードの配置

- ・トリックの勝負に使用したすべてのカードを、場に表向きにして、カードセットごとに分けて並べていきます。
- ・まだ出されていないカードの分はスペースを空けておいても詰めておいても構いません。

【カード配置の一例】



- ・4人プレイで4トリックが終了した状態のカードの配置の例です。
- ・まだ、どのカードセットも完成していない状況です。

(4) 完成したカードセットの獲得

- ・トリック勝負後、そのトリック勝負で出されたカードで完成したカードセットがある場合、セットの最後の1枚を出したプレイヤーがセットを獲得することができます。
- ・獲得したプレイヤーは場からカードセットを取り、手元に保管してください。

【注意点2】

- ・カードセットが獲得できるかどうかは、トリック勝負の結果とは関係なく判定します。(例外を5(5)に後述します)
- ・ですから、リーダーが出したカードと同じ種類のカードが出せなかった場合でも、カードセットを完成させることができれば獲得することができます。
- ・また、カードセットが複数のプレイヤーの出したカードで完成した場合、大きい数値を出したプレイヤーではなく、最後の1枚

を出したプレイヤーが獲得できることに気を付けてください。

- 例えば、「1～6」のカードセットが、[6]、[2]の順に出されて完成した場合、[2]が出た時に完成となるため、[2]のカードを出したプレイヤーが獲得します。

#### 【注意点1の事例】



- Aさんが「光琳 -10」をリードしました。
- Bさんは光琳のカードを持っていなかったため「☆宗達 -6」を出しました。
- Cさんは「光琳 -9」を出しました。
- Dさんも光琳のカードを持っていなかったため「☆宗達 -2」を出しました。
- このトリック勝負では「☆宗達の1～6」のカードセットが完成しました。
- 完成させたカードを出したDさんがこのカードセットを獲得します。
- ちなみにトリックの勝者はAさんです。

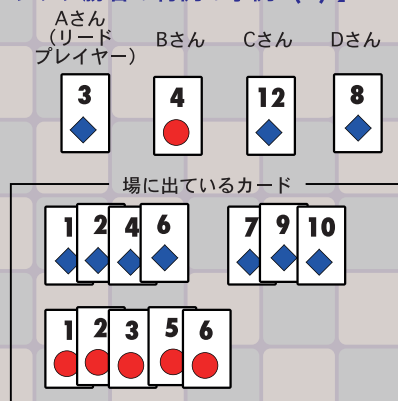
#### 【注意点3】

- 獲得できるカードセットは、トリック勝負で出されたカードによって完成したセットだけです。すでに完成し、場に残っているものは取ることはできません。
- ですから、初期配置時に、たまたまカードセットが完成してしまった場合は、誰も取ることができず、最後まで場に残ったままになります。

(5) トリックの勝者に対するカードセット獲得時の特例

- トリックの勝者は、自分が出したカードでカードセットが完成していない場合でも、同じ種類のいずれかのセットが完成した場合は、それを獲得することができます。
- このとき、そのカードセットを完成させたプレイヤーは獲得の権利を失います。
- また、トリックの勝者がカードセットを完成させていた場合でも、他に同じ種類のセットが完成していたら、そのセットを獲得することもできます。どちらひとつのセットを選んで獲得してください。
- このとき、他のプレイヤーが完成させたセットを選んだ場合、前項と同様、完成させたプレイヤーは獲得の権利を失います。
- またこのとき、カードセットがひと組、場に残されますが、残されたセットは、その後、誰も取ることができません。
- トリックの勝者が、自ら完成させたカードセットの方を獲得した場合は、もう一方のセットは完成させたプレイヤーが獲得できます。

#### 【トリック勝者の特例の事例-(1)】

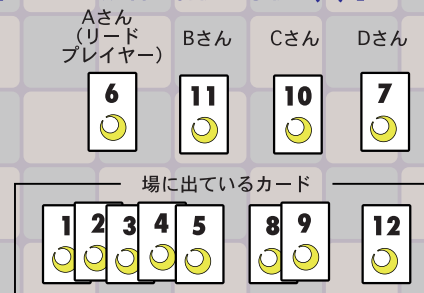


- Aさんが「◆抱一 -3」をリードしました。
- Bさんは抱一のカードを持っていなかったため「●其一 -4」を出しました。
- Cさんは「◆抱一 -12」を出しました。
- Dさんは「◆抱一 -8」を出しました。
- このトリック勝負では「◆抱一の7～10」と「●其一の1～6」のカードセットが完成しました。
- トリックの勝者はCさんです。Cさんが

出したカードではカードセットは完成していませんが、同じ種類の「◆抱一の7～10」が完成しているため、これを獲得しました。なお、「●其一の1～6」のセットはCさんが出したカードとは異なる種類なので獲得できません。

- Dさんが完成させた「◆抱一の7～10」のカードセットはCさんに先取されたため獲得できません。
- Bさんは「●其一の1～6」のカードセットを完成させ、無事に獲得できました。

#### 【トリック勝者の特例の事例-(2)】



- Aさんが「光琳 -6」をリードしました。
- Bさんは「光琳 -11」、Cさんは「光琳 -10」、Dさんは「光琳 -7」を出しました。
- このトリック勝負では「光琳の1～6」「光琳の7～10」「光琳の11～12」の3つのカードセットが完成しました。
- トリックの勝者はBさんです。Bさんは自分が出したカードでカードセットが完成していますが、得点の高い「1～6」のセットの方を獲得しました。
- Dさんは完成させた「7～10」のセットが残っているのでこれを獲得しました。
- Cさんは自分で完成させていないので獲得するものではありません。
- Aさんは完成させた「1～6」のカードセットを、Bさんに先取されたため獲得できません。
- 以上の結果、「11～12」のセットは場に残ってしまいました。このセットはゲーム終了まで場に残ったままです。

(6) カードセット獲得権のヒント

- カード獲得の手順については次の順番で行うとわかりやすいでしょう。
  - まず、トリックの勝者が同種類で完成したセットを獲得します。
  - トリックの勝者が完成させたセットが場に残った場合は、カードを横向きにするなど他のカードと区別がつくようにします。
  - 残りのプレイヤーは、リードプレイヤーの右隣から逆時計回りに自分が完成させたセットがあれば獲得していきます。

## 6 補足事項

- ゲームを遊ぶ際、できれば人数回数プレイすると、カード配付時の不均衡が軽減します。この場合、1ゲームの獲得点を足していき、総合計で競うとよいでしょう。

## 7 追記

- このゲームは、日本画の『琳派』をテーマとし、カードの種類も琳派4作家をモチーフにしています。
- このゲームをきっかけに、琳派作品についても興味を持っていただけましたら幸いです。

ゲームデザイン / アートワーク 居酒 枕  
製作 十式ゲームワークス  
平成27年11月